

質問

# 健康保険証を選択制に

町長

現行の存続は考えていない



川西 明德 議員

質問 「今の健康保険証が使えなくなるの」と混乱と不安がある。

多忙な医療機関などを報奨金のやり方でマイナ保険証の取得推進のために利用することを国にやめさせ、少なくとも現行保険証とマイナ保険証の選択制にすべきだ。

町長 健康保険証の有効期限後は、マイナ保険証のない方は、資格確認書が交付される。これまでどおり医療機関受診の際に利用できる。現行の保険証は、既に廃止が決定しており、存続の要望をするとは考えていない。

質問 厚労省は「保険料水準統一加速化プラン」を出し、同一都道府県内で完全統一の指標が考えら

れているが。

町長 直ちに保険料率を統一することは難しいと考える。統一した場合は被

保険者の不利益とならないよう、県国保連携会議部会等や県・各市町村と協議を重ねる。

好評の奥出雲町の空気感より一層、町と一緒に

質問 町道沿線の景観は町外の方から好評だ。生活道路や植栽などの管理・整備の施策は。

町長 町道は、住民の安心・安全を確保するため、町が適切に維持管理を行うものと認識をしている。今までも道路愛護

ボランティアに協力をいただいております。感謝を申し上げます。町と地域住民と一体となつて協力して町道の維持管理に取り組むことが重要であると考えている。

公園の植栽などの管理は適切な管理に向け対策を考える。

利用できる介護事業に

質問 訪問介護報酬引下げ中止に必要な国費は年50億円で、マイナ利用促進予算の4分の1。訪問介護報酬を引き下げながら、マイナ保険証促進に200億円以上の補助金を使う支援金は中止し、訪問介護報酬引下げ撤回を国に強く求めるべきだ。

町長 訪問介護に係る介護報酬の引下げは、本町でのサービス提供への影響は多大だ。

先般も県に、訪問介護事業の介護報酬の引上げを国へ要望をした。引き続き町村会等を通じて、国や県に要望する。

その他の質問

奥出雲町第三セクター等経営検討委員会、最終答申書を提出した。

これに応えた奥出雲町の第三セクター等経営健全化方針（案）について



整備された奥出雲病院交差点付近



雑草で視界不良の町道滝坂線